

あいむ柏崎

— 女と男 共につくる希望の未来 —

2019年7月19日

第1号

発行 | かしわざき
男女共同参画推進市民会議



公開講演会報告

「さつまいもに人生をかけた女 ～帰って来たくなるふる里づくりを～」

(株)農プロデュースリッツ 代表取締役社長

あらや りえこ
新谷 梨恵子 さん

小千谷市の女性起業家 新谷梨恵子さんから、さつまいもを使って町おこしに奮闘しているお話をお聞きました。

さつまいもに恋して

新谷さんは子どものとき、「さつまいもには心がある。人においしく食べてもらおうと、甘くなるう甘くなるうとしている。」と焼き芋屋さんから聞かされたことがキッカケでさつまいもが大好きに。そして、結婚を機に東京から小千谷市に移住。現在は農家経営をサポートするため、生産、加工、流通販売をトータルで提案する6次産業化プランナーとしての事業とともに、「さつまいも農カフェ“きらら”」(レストラン)を展開しています。

頑張り続ければいつか ～願イモ叶う～

「大好きなさつまいもで小千谷を元気にしたい！」が新谷さんの夢です。最初の頃は、「さつまいもで町おこしなんて無理!」「東京もんが!」と言われ悔しい思いもしましたが、「できるか?できないか?ではなく、やるか、やらないかしかない。だったらやることを選ぼう!」「女だから我慢しなくちゃならないってことはない!」「どう乗り越えるかを必死で考える!」、そんな頑張りが徐々に実を結んできました。農家と消費者をつなぐ様々な事業が軌道に乗っていきます。

輝いていた新谷さん

「これまでは、成功より失敗の数の方が多かった。それでもここまで来られたのは、出会った人たちのおかげと感謝している。私はまだまだ成し得ていない。まだまだ頑張れる。お世話になった小千谷の人に恩返し出来るようなさつまいも人生にしたい。」と締めくくりました。

新谷さんのように、夢や目標に向かってチャレンジする人が増えることが、柏崎の元気の源になると確信しました。そのことは、私たちが目指す男女共同参画社会の目標でもある「性別にかかわらず個性と能力が発揮できる社会」「誰もが心豊かに暮らせる社会」の実現にも通じるものでした。



2019年5月11日(土) 柏崎市文化会館アルフォーレ 参加者34名

開催案内

親子わんだーランド 生き・活き・子育て!

7月28日(日)10時~15時 会場/ 柏崎市市民プラザ 海のホール



柏崎市ホームページ
親子わんだーランド

真夏日に涼しく優しくなる?!

『親子わんだーランド 生き・活き・子育て!』は今年で15回目の開催。涼しい市民プラザの会場には、たくさんの遊びのコーナー、おもちゃドクター、お母さんの癒しの空間「ネイルサロン」などお楽しみが満載です!

また、経験豊富な子育て談を兼ね備えたスタッフが、新米パパママを歓迎します。重い悩みと思っていた子育ての悩み(おむつ卒業時期・離乳食・卒乳時期etc.)も、スタッフに相談すると我が子への想いや愛情へと変化します。どうぞお気軽にお越しください。

「かわいいロディ」共々、スタッフ一同お待ちしております。



ハッピー・パートナー企業の

子育て支援を応援しています!



ハッピー・パートナー企業にお勤めの男性従業員が……



連続して5日以上の子育て休業を取得すると……



育休取得者には1日5,000円

事業主には20万円の奨励金を支給します



制度については柏崎市ホームページをご覧ください。



男性の育休奨励金

私たちは柏崎の「ハッピー・パートナー企業」です

新潟県では、男女が共に働きやすく、仕事と家庭等の両立、女性従業員の育成や登用などに積極的に取り組む企業を「ハッピー・パートナー企業」として支援しています。



柏崎市ホームページ
ハッピー・パートナー企業募集



「働きやすい職場づくりへの取組」

新潟岡本硝子株式会社 業種:製造業 所在地:安田7587-1

新潟岡本硝子は岡本硝子グループの一員として2005年に設立され、現在122名(内女性33名)ほどが在籍するガラス製品を製造している会社です。

弊社は働きやすい職場環境づくりのために「残業時間の削減」に取り組んでいます。退社時間になると各職場のリーダーが声かけをして、帰りやすい雰囲気になるようにしています。また、スキルマップ作成による現場での多能工化を進め、仕事量の平準化を図っています。それにより残業時間は減少傾向にあります。

仕事と家庭・その他の活動が両立できるようにするために「育児・介護休業制度」の周知にも取り組んでいます。社内の実際もしくは電子掲示板で常に告知しており、目につきやすいようにしてあります。今まで女性社員の育休取得率は100%です。2回以上取得された方も複数人おり、元の職場へ復帰して育児と仕事を両立しています。

今後も色々な取組を行い、社員の皆さんが長く勤められるよう働きやすい職場づくりを進めていきたいと思っています。

(総務部/牧野さん)

※ 多能工…製造業などにおいて1人で複数の業務や行程をこなす作業のこと



代表取締役社長
川島 健一さん

「社員の成長と自立のために」

株式会社創風システム 業種:総合サービス 所在地:田中20-22

①働きやすい職場環境づくりの取り組み

- ・毎週水曜日を「ノー残業デー」として、上長からの声掛けを実施し、所定外労働時間の削減に努めています。
- ・各ハラスメントやメンタルヘルスのための相談窓口を設け、産業医と連携し、早めの対応を実施しています。
- ・毎月月末に社員同士の情報共有とコミュニケーションを図るため全員参加のパーティーを実施しています。

②仕事と家庭、その他の活動が両立できるようにするための取り組み

- ・もともと家庭、学校、地域行事、消防団活動などへの参加を優先させており、有給休暇は100%希望通り取得できます。
- ・介護休業、育児休業、看護休暇、慶弔休暇により、社員が安心して働ける環境づくりをしています。

③女性の能力を生かすための取組

- ・男女、正社員、パートを問わず、キャリアアップや新技術取得に繋がる研修、セミナー、視察などには会社が全額経費を負担しています。
- ・会社の認められた資格を取得した社員には報奨金を支給し、人事考課に反映させています。
- ・パートから正社員への登用を勧めています。(2019年度実績1名)



代表取締役
石塚 修さん

(総務部/近藤さん)

柏崎の女性史

女子教育の母 三宮 茂子

女子に学問は不要といわれた時代、小学校を卒業した女子に唯一学ぶ道として残されたのが裁縫学校でした。柏崎で最も古い歴史をもつのが三宮茂子の裁縫塾です。幼い頃から手先が器用だった茂子は、慶応元年(1865)17歳で裁縫指南所を開きました。その背景には、婿養子と生き別れになるという不幸な出来事がありました。

当時はまだ裁縫は男性の職業とされ、世間の目は厳しかったといいますが、「裁縫の道に男女の区別はない、努力すれば決して劣ることはない」という強い信念が茂子を支えていました。自立するために裁縫の道一筋に生きることを決意したわけですが、結果として女性の自立への道を切り拓くこととなったのです。

西本町の間光寺の脇に三宮家の自宅があり、その二階に六十三畳の板敷きの広い教室がありました。修身や国語、算術、体操など一般教養も教え、とくに礼儀作法を重視したといえます。その技と人柄を慕って刈羽郡内外から



裁縫授業の様子 大正4年(1915年)

から多くの女子が通い、裁縫学校へと発展しながら娘の登喜子に引き継がれ、80年間で3千人余りの女子が学びました。「三宮さんで学んだ娘をぜひ嫁に」との声も多かったといえます。裁縫学校は花嫁修業の場とみなされがちですが、学びの場が限定された時代に果たした役割は大きいものだったと思われます。

後に、登喜子は次のように語っています。「母を通じて私を導いてくれたものは一芸に生きる心でした。身も魂もぶち込んで一つの芸を身につけることは、人間を育て、人間を救うのではないのでしょうか。母の心は時代をこえて女の生きる一つの道を示してくれているのです。」

(協力/早川美奈子さん)

写真: 柏崎市立博物館蔵



嘉永元年(1848)~大正10年(1921)
下浦町(現西本町)出身

「一人ひとりが幸せな社会のために」～男女共同参画社会の実現を目指して～

かしわざき男女共同参画推進市民会議では、互いを尊重し、誰もが個性と能力を発揮できるまちづくりを目指し活動しています。「男性、女性だから、障害があるから、子育て中の母親だから」こうあるべきだなど、区別差別や固定的な役割分担・慣習を見直し、喜びも責任も分かち合える協働の地域社会でありたいと考えます。

国は男女共同参画社会の実現を最重要課題とし、労働や育児・介護等の法改正、ワーク・ライフ・バランスの取組などを行っていますが、まずは、暮らしの中から。私たち

自身の意識の変容と認める・つながる・参画する行動を!

「あいむ柏崎」は、かしわざき男女共同参画推進市民会議の愛称です。「I(あい)」は「自分自身」、そして「む」は「歩む・前進」です。多様な生き方を認め合い、誰もが生き生きと暮らせる地域社会を築きましょう。今日の私たち大人の意識や行動は、子どもたちの将来、未来の地域社会の在り方を形作ります。

誰もが幸せであるために、未来が幸せであるために、共に「あいむ柏崎」

かしわざき男女共同参画推進市民会議 会員募集中!

女性も男性もイキイキと輝く社会を目指して、一緒に活動して下さる方、支援して下さる方を募集しています。

年会費/1,000円(個人会員) 3,000円(法人・団体会員)

問い合わせ先・申し込み先 柏崎市人権啓発・男女共同参画室
〒945-8511 柏崎市中央町5番50号 TEL 0257(20)7605
FAX 0257(32)3303 Eメール danjo@city.kashiwazaki.lg.jp

あ と が き

みなさんこんにちは! 本年度より年2回、市民のみなさまに男女共同参画啓発活動の一環として「あいむ柏崎」をお届けします。行事のお知らせを始め、ハッピー・パートナー企業の取組の紹介、柏崎の女性史などを企画していきます。是非ご覧いただければと願っております。(会長 須田年美)